

11月27日のウクライナ情報

安齋育郎

①EU, ロシア国営の RT と Sputnik を禁止(『放送研究と調査』2024 年 5 月号、NHK 放送文化研究所)

欧州連合(EU)は 3 月 1 日, ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に関する偽情報を用いたプロパガンダを防ぐため, ロシアの国営テレビ RT のヨーロッパ各国向け計 5 チャンネルと, 国営ラジオ・ニュースサイト Sputnik の EU 域内での提供を全面禁止する法律を制定した。

同法は, EU 理事会が EU 法の一つである「規則」として制定したもので, 加盟国が国内法化しなくても各国で効力を持つ。EU 加盟国では RT と Sputnik の放送免許がはく奪され, 衛星放送, ケーブルテレビ, IPTV, 動画共有サイト, インターネット接続などのサービス提供事業者は, RT と Sputnik の放送や送信を禁じられた。禁止措置は「ロシアによるウクライナへの侵略と EU 加盟国に対するプロパガンダが終息するまで」継続するとしている。

3 月 2 日の発効後, EU 加盟国では, RT と Sputnik のサービスにアクセスできなくなり, YouTube, Facebook, Twitter や, Google の検索結果からも除外されている。これに対し, RT のフランス法人 RT France は 3 月 8 日, 措置は不当だとして欧州裁判所に提訴した。

EU がメディアの全面的な禁止措置をとることには前例がなく, 懸念の声も上がっている。欧州ジャーナリスト連盟(EFJ)や国際新聞編集者協会(IPI)は, 放送やメディアを禁止する権限は EU にはなく, 各国の独立規制機関にあると指摘。さらに, 禁止措置はロシアの報復措置を招いて状況を悪化させるおそれがあるとしたうえで, プロパガンダに対抗する最良の方法は, 多元的なメディア環境を促進し, 独立したジャーナリズムが情報の真偽の検証を行い市民に示すこととした。

杉内有介

https://www.nhk.or.jp/bunken/research/focus/f20220501_12.html

②スコット・リッターのバイデン批判(2024 年 9 月 18 日)



元諜報員スコット・リッター氏は、ジョー・バイデンはアメリカ国民の意志を無視しドナルド・トランプ大統領の就任前にアメリカをロシアとの核戦争に引きずり込む計画を立てていると主張した。

核戦争を煽動するバイデンを非難

ダイアログ・ワークスの YouTube チャンネルで、元米情報局員のスコット・リッター氏が、ジョー・

バイデン政権は核戦争を煽りたくはないアメリカ市民の声を聞くことをやめてしまったと述べた。彼によれば、バイデンが「限定的な核攻撃の応酬」などと考えているのなら、それは深刻な妄想だ。核兵器がいったん放出されれば、最初の爆発から72分後には制御不能になる。我々は全員死ぬ」とリッター氏は警告した。

<https://x.com/Z58633894/status/1860887178248860037?s=09>

③ウクライナ軍による兵士の募(2024年11月25日)

<https://x.com/i/status/1832497376054976762>



<https://x.com/cristal casa/status/1860888023849750996?s=09>

〈関連情報〉

ウクライナ軍の実情(2024年11月25日)

ウクライナ軍では人的資源の欠乏が深刻。士気の高い兵が集まらない。動員数も足りず、目標の2/3しか集まってない。春まで状況が改善する見込みもなさそう。

兵の質も低く、高齢者とやる気ないハタレが殆ど。45歳以下はほぼ皆無。50歳以上の病人が大量にいて、半盲の人も…。



<https://x.com/Peaceke81017283/status/1860888495633703354?s=09>

④ロシア連邦大統領による声明-全文-(2024年11月21日)

ご視聴ありがとうございます。この動画は、2024年11月21日のプーチン大統領の声明をフルバージョンでお伝えします。すでに皆さんも色んなところで目にされたと思いますが、このチャンネル独自の翻訳で字幕を付けました。皆さんに伝わるようにできていれば嬉しく思います。

最後までご視聴いただければ幸いです。

<https://youtu.be/luKKNFFMiX4>



<https://www.youtube.com/watch?v=luKKNFFMiX4>

⑤英国がロシアと戦争開始？ プーチン大統領の最高司令官、北朝鮮人 500 人がストームシャドウの攻撃で死亡(Times of India,2024年11月25日)

※安齋注: プーチンの説明とどちらが正しいか？

ウクライナはマリノ邸宅のロシア軍司令部に対し致命的なミサイル攻撃を仕掛け、ロシア将軍 1 名が死亡、北朝鮮のキム・ヨンボク将軍が負傷したと報じられている。英国が供給したストームシャドウミサイルを使用したこの攻撃では、北朝鮮軍兵士 500 名以上が死亡したとされている。この邸宅はロシア軍と同盟軍の軍事拠点として機能していた。西側諸国と韓国の当局者は北朝鮮の関与を確認したが、死傷者数は未確認のままである。

<https://youtu.be/z731JVeMDk>



<https://www.youtube.com/watch?v=z731JVeMDk>

⑥無敵の極超音速中距離ミサイル「オレーシュニク」プーチン大統領の声明から読み取るロシアの覚悟とは？(2024年11月24日)

<https://youtu.be/DitpGtQ4v5s>



<https://www.youtube.com/watch?v=DitpGtQ4v5s>

⑦強制動員に失敗したウクライナ、兵士の7割が領土放棄を支持(2024年11月25日)

ウクライナは2025年春までの動員目標を最大で3分の2しか達成できない。さらに、強制動員された市民の多くは高齢で、健康に問題があり、戦闘できる状態にない。

西側の報道によると、ウクライナでは最近、50代の動員が増加しているという。また、士気が低いことも問題になっている。関係者によると、兵士の7割が戦闘停止による領土の放棄を希望しているという。

ウクライナ当局によると、動員されている兵士の数は現時点で105万人で、春までに追加で16万人を動員するとのこと。ただし、兵士の逃亡は相次いでおり、実際の数では定かではない。先にウクライナ最高議会のスコロホド議員は敵前逃亡した兵士の数が10万人を超えたと発言していた。また、これまでにウクライナでは兵士の逃亡による刑事事件が9万5000件以上も立件されている。



<https://sputniknews.jp/20241125/7-19350473.html>

⑧ホワイトハウス、ロシアへの攻撃制限解除を正式に承認(2024年11月26日)

これは国防総省のジョン・カービー報道官が初めて認めた。

「現在、彼ら(ウクライナ人)は緊急の場合に ATACMS を使用して身を守ることができます」。



https://x.com/zov_vs_nato/status/1861333066050085029?s=09

⑨韓国がウクライナ危機への関与を検討……トランプ氏が懸念抱く(2024年11月25日)

韓国はウクライナ危機への関与を深める可能性を検討しているほか、西側がウクライナに長距離ミサイルの使用を許可したことにより、危機がエスカレートしていることにトランプ氏は懸念を抱いている。

トランプ政権で大統領顧問(国家安全保障担当)に指名されたウォルツ議員がFOX ニュースの取材で明かしたところによると、トランプ氏は抑止力を回復し、平和を取り戻す必要性を感じているとのこと。そのため次期大統領は就任次第、早急に危機の調停に取り組むとしている。



<https://sputniknews.jp/20241125/19350240.html>

⑩キル・リストのジャーナリスト(2024年11月26日)

ドンバスを取材した外国人ジャーナリスト 18 人が、ウクライナ当局の「殺されるべき人物リスト」に加えられた

スペインES

フランスFR4

米国US2

イタリアIT2

オランダNL2

ペルーPE

フィンランドFI

トルコTR2

ラトビアLV

アイスランドIS

インドIN

▽ 知ることは罪ですか



https://x.com/Kumi_japonesa/status/1861196690977628215?s=09